

(様式3)

自己評価結果票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>「今まで通りに誇りを持った暮らし」のお手伝いをするという理念の中には、「地域に密着した生活」という意味が当然含まれていることを全職員が理解し、日々の実践に活かしている。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>毎朝の朝礼では利用者・職員全員がオリンピア灘の理念を唱和し確認を行っている。また、日々利用者に関わる際に理念を具体化できているか、職員同士で声を掛け合いながら確認している。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議や家族会等の定期的な場だけではなく、民生委員や一般の方々の見学も随時受け入れ、理念をわかりやすく説明すると共に、実践している場面もご覧いただいている。また、ホーム内各フロアに理念を掲示し、パンフレット等にも掲載している。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>日々の散歩や買い物の際に、近隣の方々と挨拶や言葉を交わす中で顔馴染みになり、近隣の方から声を掛けていただくこともある。利用者が訪問された時は温かく迎えていただけるような関係もできている。夕涼み会等のホームの行事の際には、近隣の方々にも気軽に来ていただけるようチラシを配布する等、ますます交流を深めている。</p>	
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地域住民の一員として自治会に加入し、地域の行事には利用者と一緒に参加し、地元の人々と関わる機会を積極的に持ち続けている。また、近隣の保育園児との交流も頻繁に行っている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいない項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>法人内でのオリンピア福祉塾、介護者教室、介護リフレッシュ教室、地域での会合に講師としての参加を通して、地域の方の「認知症」の理解等に役立てていただいている。また、昨年キャラバンメイト養成講座に参加した職員が今秋から地域の研修に参加する。</p>	<p>キャラバンメイトに登録している職員が2008年9月より近隣地域の方を対象とした「神戸市認知症研修」の講師として参加する。</p>
<p>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</p>			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>ホーム長は自己評価、第三者評価の意義を全職員に伝え、職員一人ひとりの意見を反映した自己評価作成に取り組んでいる。第三者評価の結果は、リーダー会やカンファレンスなどで報告し、振り返りを行っている。また、年に一回の評価を通し、より良いケアのあり方について全職員で何度も話し合いながら実践に移している。</p>	
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議では映像や写真、ホーム便りなどを活用し具体的でわかりやすい報告に加え、双方が発言しやすい雰囲気作りを行い、参加メンバーの皆様からより多くの率直な意見をいただけるよう工夫している。また、評価への取り組みについても報告し、メンバーの皆様に意見をいただき、それを日々の実践に反映している。</p>	
9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議にとどまらず、市担当者とは役所に出向いたり、電話等により頻繁に連絡を取りながら適切な指導を受けている。また、市担当者の見学、市の紹介による事業所の見学も広く受け入れ、意見交換を行いサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>顧問弁護士を講師として職員研修を実施し、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持っている。数名の利用者が成年後見制度を利用されている。</p>	
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待に関する研修や事例検討を実施し、虐待の危険性や早期発見の重要性、職員の心のケア法について話し合い、職員同士声を掛け合いながら徹底的な虐待防止に取り組んでいる。</p>	<p>職員とフロアリーダー、ホーム長はそれぞれ密な関係を築き、職員の心理状態を常に察知できるので、早期に心のケアを施し、時には働きやすい環境を提供することで虐待の防止に役立っている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		<p>利用者が今以上に外部の方に何でもお話しできる よう、近隣の方などが気軽に遊びに来られる回数 を今以上増やしていける取り組みをしていき たい。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>基本的には各フロアの職員は固定し、昼夜を通して馴染みの職員が生活のお手伝いをさせて頂けるよう配慮している。やむを得ない場合の異動や、新入職員の配属の際には、利用者お一人おひとりへの影響を十分に検討した上で個々に合わせた説明を行っている。またその際にはご家族にも必ず報告している。</p>	
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>全職員が継続的に学び成長できるよう外部研修だけでなく、法人内研修も定期的に行っている。新入職員OJTや若手リーダー育成研修などの実践の習熟度等に応じた研修では、単なる知識の獲得にとどまらず、人間的な成長を通じた人材育成に重点を置いて行われている。参加者は研修報告書を提出し、全職員が閲覧し、カンファレンスで学びの機会として活用している。また幅広い知見の獲得と最先端のケアを体験するため、スウェーデンとの交換留学が今年度より実施される。</p>	
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>外部研修への積極的な参加により、同業者との交流や意見交換の機会につなげ、サービスの質の向上に努めている。それに伴い相互訪問の機会もあり、その際には相互の意見交換を行っている。また、宅老所・グループホーム全国ネットワークにも加入している。</p>	
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>ホーム長は日頃から職員の様子の変化を気に掛けており、悩みやストレスを抱えた職員は、その都度すぐに相談できる環境になっている。また、休憩時間に職員が1人になって一息つける場所を確保している。親睦会なども行い、職員同士が交流を深める機会を持つようにもしている。</p>	
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>ホーム長が頻繁に現場に居ることで、ホーム長と職員がいつでも気軽に話をできる関係を築いており、各職員の能力、様々な取り組み、悩みに至るまで確実に把握し、職員が安心してやりがいを持って働けるように努めている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居前に実施する面接において、ご本人の不安や要望等を聴く時間をゆとりを持って設けることで、ご本人が話しやすい雰囲気醸し出すよう、そして安心して新しい生活を迎えていただけるよう努めている。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>ご家族が抱えている不安や様々な要望を確実に把握するため、入居面接においてご家族の思いも十分お聴きし、入居後もご家族からお話を伺う機会を多く設け、その思いを受け止めるよう努めている。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談を受けた時にご本人とご家族の実情や思いをじっくりお聴きし、早急かつ適切に対応できるように、また同法人内の他のサービスも含め柔軟な対応が行えるように努めている。</p>	<p>法人内での多種多様なサービスをより多くの方に利用して頂けるよう、これまで以上に法人内の各事業所同士の交流を深め、横のつながりを強固なものにしていきたい。</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居に際しては、事前に訪問して頂き、ご家族の協力を得て徐々に馴染んで頂けるよう工夫している。またデイサービスの利用を通して、職員や利用者と馴染みの関係を築き入居に至ったケースもある。</p>	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>生活の主人公は利用者ご本人であり、職員は生活のお手伝いをさせて頂く者として、日々の喜びや悲しみを共有できる関係を築いている。また職員は、人生の先輩である利用者から生活の知恵など多くのことを学び、利用者が職員を支えるという場面も多く生まれている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	<p>利用者を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご本人がこれまで通りの生活を送るためにはご家族の力が必要であることをお伝えし、一緒にご本人を支える関係作りに取り組んでいる。また、日々の生活の中で気づいたことや嬉しかったことなどをこまめにお話しし、職員の利用者に対する思いもお伝えできるよう努めている。</p>	
29	<p>利用者と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの利用者と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>ご本人のご家族に対する思いや、ご家族のご本人への思いをお聴きし、時には職員が橋渡しの役割をしながらお互いの繋がりと絆を深めて頂けるよう努めている。また、行事などにご家族にも参加して頂き一緒に過ごして頂ける機会を積極的に作っている。</p>	<p>様々な事情から訪問の回数が減っているご家族に対しては、電話連絡などにより報告連絡を頻繁に行うようにしている。</p>
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ご本人やご家族からこれまでの生活のお話をお聴きする中で、馴染みの人や場所を把握し、訪れる機会を設け、関係継続の支援をしている。また知人や友人にご本人が自由に電話連絡や、手紙のやり取りができるよう支援している。意思表示が難しい方の場合も、ご家族と話し合ったり、ご本人の表情に気を配りながら、ご本人の行きたい場所などを考慮し、出かけていただいている。</p>	
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>利用者同士が共に助け合い、支え合って暮らすことの大切さを全職員が十分に理解している。利用者同士が相談して物事を決めたり、互いに思いやり、労る場面を常に尊重し、職員は介入しすぎることなく自然と支え合う場面作りに努めている。</p>	
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>サービス利用終了後も、継続して来訪されるご家族も多い。中にはボランティアとして来訪して下さるご家族もあり、ホームの利用者の喜びに繋がっている。サービス期間中に培った信頼関係を継続して保ち続けられるよう努めている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>			
<p>1. 一人ひとりの把握</p>			
33	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の会話から利用者お一人おひとりの思いを把握するように努めている。また、意思の疎通が難しい方もご本人の表情や行動、言葉の端々から気持ちを汲み取れるよう努めるとともに、ご家族からもお話をお聞きし、利用者お一人おひとりが職員と一緒に希望通りの生活を送られるよう取り組んでいる。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>理念にある「今まで通りの生活」ということの意味や大切さを全職員が十分に理解しており、お一人おひとりの生活スタイルに沿った支援ができるようご本人、ご家族からの情報収集に努めている。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>日々の生活の中で、職員が利用者お一人おひとりの状態を、ご本人の視点に立つことにより、全体的に把握できるように努めている。また、職員は変化する利用者の有する力に柔軟に対応し、利用者と一緒に挑戦する姿勢を大切にしている。</p>	
<p>2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>日々の生活の中でご本人やご家族の要望、医師のアドバイスなどを考慮し、職員側から聴き出す機会も作りセンター方式によるアセスメントを行い、より良い介護計画を作成するように取り組んでいる。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>日々介護計画を実践する中で、気づいたことは職員間で共有できるよう日誌に記録し、カンファレンスでより良い介護計画について意見交換し、検討している。状態が変化した時には、見直し前であっても、改めてアセスメントを行い、ご本人やご家族の要望もお聞きし、新たな介護計画を作成している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>他の方との関わりが一目でわかるように利用者全員の日誌と、お一人おひとりの日々の積み重ねがわかるケース記録を残している。いずれも入居者の生きた証であるという認識を全職員は持ち、言葉や仕草、表情等を細かく記録し、介護計画の見直しに反映させている。</p>	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>ご本人・ご家族の状況に応じて、話し合いを重ねながら通院や外泊のお手伝をさせていただいている。重度化や看取りに関しても必要な医療との連携を図り、ご要望にお応えできるように尽力している。また、デイサービス利用により馴染みの関係作りをした上でスムーズに入居されるケースもある。</p>	
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	<p>地域資源との協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>運営推進会議などを通して民生委員や地域の方々と情報交換したり、協力を得たりしている。また、教育機関等からの実習生、ボランティアも多数受け入れ、近隣保育園との交流も頻繁に行っている。</p>	
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>ご本人の希望により他のデイサービスを利用されている方もいる。また、医療機関の指導を受け、日常生活の中で出来るリハビリを実施している。</p>	
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>地域包括支援センター職員にも運営推進会議のメンバーになっていただき、専門的な見地からのアドバイス、支援などをしてもらっている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>認知症に詳しい内科、心療内科の医師などと連携を取ることによって認知症に関する専門的なアドバイスを受けている。また、その医師に相談に応じてもらう中で、お一人おひとりにあった治療方針と一緒に考えている。</p>	
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>看護師を介護職員として配置しており、利用者の健康管理や状態変化に応じた支援が常に行える体制が整っている。</p>	
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>協力病院として地域の総合病院を確保しており、安心して病院で過ごすことができるように、頻繁に職員がお見舞いに行き、情報交換を行っている。また、入院によるダメージを最小限にとどめるため、早期退院に向けてご家族、医師との話し合いにホームからも参加させて頂いている。</p>	
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>普段より重度化した場合や終末期のあり方について、ご本人、ご家族、かかりつけ医等と繰り返し話しをし、方針を共有するように取り組んでいる。ホームとしても、最後までその方らしく生活ができるように、お手伝いをさせて頂いている。</p>	
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>利用者が重度化したり、終末期を迎えた際には、ご本人やご家族の意向を踏まえ、終末期医療の専門医、かかりつけ医の協力を得て、適切な指導の下でホーム長、職員、医師、看護師が24時間体制で協力して支援に取り組んでいる。</p>	<p>利用者がホームで終末期を迎える場合に備え、ホーム独自のターミナルケアのマニュアルを作成し、その方針を全職員で共有している。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		<p>日常的におしゃれを楽しむ喜びを味わっていただくため、テレビや雑誌と一緒に見たり、ショッピングと一緒にいく中で、ご本人がいつも新鮮なおしゃれの感覚を持ち続けられる支援を続けていきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>利用者の嗜好の支援</p> <p>利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		<p>その日その時の気分により嗜好が変わる場合もあるので常にその方の楽しみや喜びにつなげることができるよう、変化する嗜好にも柔軟に対応できる今の姿勢を崩さずこまめにお聴きしていきたい。</p>
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		


項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご本人の希望に添って、お一人おひとりに合った金銭の管理をして頂けるようにしている。お金を所持していることから安心感も生まれ、買い物への意欲が高まっている。また、金銭管理の難しい方でも、支払いの際にお金をお渡しし、お店の人と直接やりとりして頂けるように支援している。</p>	
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>利用者お一人おひとりの希望に応じて、毎日外出できるように支援している。行き先を相談するのが難しい方でも、これまでの生活歴やご家族のお話、ご本人の反応を踏まえてその方に合わせた外出を行っている。電車やバス等を利用しての外出も楽しんでいただいている。</p>	
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>日々の生活を共にする中で聴くことのできる利用者の行きたい場所を把握し、他の利用者やご家族、職員と共に出かける機会を積極的に設けている。沖縄旅行を実現させた利用者もいる。</p>	<p>今年は「温泉に行きたい」と希望されているフロアの違う利用者の方々が、一緒に温泉旅行に行けるよう、実現に向けて現在計画中である。</p>
63	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>利用者が好きな時にご家族や友人に電話を掛けられるように支援している。また、暑中見舞いや年賀状等、時候に応じて手紙のやり取りができるようにお手伝いをしている。</p>	
64	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>職員は笑顔で挨拶やお話をし、いつでも気軽に訪問していただけるよう取り組んでいる。訪問された際には、共用スペースで過ごされる方が多く、ご家族、友人が他の利用者と良い関係を築かれている。来訪者も多く、泊まれることもある。</p>	
(4) 安心と安全を支える支援			
65	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>ホームとして身体拘束をしないケアに取り組むために、法人内研修を実施し、職員一人ひとりの意識を向上させると共に、個々のケースにおいてはカンファレンスなどで検討している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいない項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>鍵を掛けることによって生じる弊害を職員それぞれが理解した上で、日中は玄関・エレベーターに鍵を掛けず、利用者が自由に出入りできるようにしている。また、物理的な鍵だけではなく、心理的な鍵を掛けることもないように、取り組んでいる。</p>	
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>職員は、利用者お一人おひとりのその時の表情や言葉、行動から心理状態、身体状況を把握しながらさり気ない見守りをしている。夜間はこまめな巡回を徹底し、プライバシーや安眠に配慮した方法で安全確認を行っている。</p>	
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>注意の必要な物品の管理は、日々変化する利用者の状態を見極めて管理方法を変えている。基本的には普通の生活を送っていただく上で必要な物が多く、それを取り除いて危険を回避するのではなく、スタッフが危険予知を十分に行い、安全に普通の生活をして頂けるように支援している。</p>	
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>事故防止のためのマニュアルを作成し、職員に周知を図っているほか、随時事故防止に関する研修を実施し、日々の生活の中での事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>年間の事故報告書からデータを集積し、どのような時間帯や場所で事故が発生しやすいかを検証して、事故防止に役立てている。</p>
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>法人内部における急変時・事故発生時の対応に関する研修や、公的機関による市民救命士講習などを全職員が順次受講できるように取り組んでいる。</p>	
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>災害対策に関する研修を法人内で実施しているほか、昼間時間帯・夜間時間帯を想定した避難訓練を行い、非常災害時に利用者の安全を守れるように、日々意識を高めている。また、地域の協力も自治会を通じて呼び掛けていただき、緊急時には協力が得られるようになっている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>その人らしい自由な生活の大切さと、それに伴って一人おひとりに起こり得るリスクについて、入居の際、そして入居後も必要に応じてご家族に説明し、理解して頂けるよう努めている。</p>	
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>職員は利用者お一人おひとりの体調に注意を払い、些細な変化も見逃さないように努めている。また、気づいたことがあれば日誌に申し送るだけでなく、口頭でも他の職員に注意を促し、即座に対応できるようにしている。24時間電話相談出来る医師も確保している。</p>	
74	<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬管理担当者を置き、全職員が薬の内容を把握できるように薬リストをファイルし、活用している。また、服薬時にはきちんと服薬出来ているか最後まで確認することを徹底し、副作用や身体状況の変化に常に注意を払っている。</p>	<p>利用者ご本人にとって服薬が不快なものにならないよう、ご本人のペースに合わせた声掛けとお手伝い、安心して服薬できる環境づくりに取り組んでいる。また、誤薬防止のためのダブルチェックも徹底している。</p>
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>日々の食生活において、食物繊維の多い食品や乳製品、水分を多く摂っていただくように注意を払っている。また、散歩や体操などの運動を積極的にしていただけるよう取り組んでいる。</p>	
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>歯科衛生士有資格者を介護職員として確保しており、定期的に利用者お一人おひとりの口腔チェックを行っている。また、職員は口腔ケアについて指導を受けると共に、その方にあった口腔ケアの方針を一緒に考えている。</p>	<p>現在の利用者お一人おひとりの口腔内の状態に合わせ、ご本人にしていただけることを重点に置いた口腔ケアのチェックリストを作成している。</p>
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>職員が利用者とともに食事をする中で好みや食事・水分量を把握し、異変があれば職員間で共有している。また、食事・水分量が低下しつつある利用者には、その方の好みや生活習慣を再度見直し、声のかけ方や食事の雰囲気作りを含めて職員間で検討している。法人内の栄養士のアドバイスも受けている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防対策マニュアルを作成し、全職員が随時理解するようにしている。また、感染症に関する内部及び外部の研修を受講することにより、日々の予防や対応に活かしている。インフルエンザに関しては、毎年予防接種を実施している。		
79 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒予防に関するマニュアルを作り、随時確認している。食器、調理器具等は食器洗浄機での高温消毒に加え、洗剤で漂白・殺菌もしている。また、冷蔵庫や冷凍庫の温度のチェックを徹底し、安全な食材の使用と管理に努めている。		今後も徹底して衛生管理を継続していく。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり			
80 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	明るい雰囲気の皆様をお迎え出来るよう、広々とした明るい玄関に季節の花を置いている。また、利用者やご家族の意見を聴きながら、開かれたホームを感じていただけるような空間づくりに努めている。		
81 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各フロアそれぞれ利用者のこれまでの生活を考慮し、利用者の意見を取り入れつつ、どなたにとっても居心地の良い空間となるよう努めている。季節毎の飾り付けや花を生けて頂くなど季節感や生活感も採り入れている。また、天窓を利用して光を採り入れたり、換気をしたりもしている。		
82 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアの随所にソファやテーブルセットを設置し、お一人で過ごしたり、好きな方とのんびりと語らえるスペースとなっている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		<p>「これまで通りの生活のお手伝い」という理念の中に、安心して自立した生活を送ることができるという意味もあることを理解し、今後もこの視点を崩すことなく環境作りに努めていきたい。</p>
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
87	<p>建物の外周や空間の活用</p> <p>建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目			
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	_____	ほぼ全ての利用者の
		_____	利用者の2/3くらいの
		_____	利用者の1/3くらいの
		_____	ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	_____	毎日ある
		_____	数日に1回程度ある
		_____	たまにある
		_____	ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	_____	ほぼ全ての利用者が
		_____	利用者の2/3くらいが
		_____	利用者の1/3くらいが
		_____	ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	_____	ほぼ全ての利用者が
		_____	利用者の2/3くらいが
		_____	利用者の1/3くらいが
		_____	ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	_____	ほぼ全ての利用者が
		_____	利用者の2/3くらいが
		_____	利用者の1/3くらいが
		_____	ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	_____	ほぼ全ての利用者が
		_____	利用者の2/3くらいが
		_____	利用者の1/3くらいが
		_____	ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	_____	ほぼ全ての利用者が
		_____	利用者の2/3くらいが
		_____	利用者の1/3くらいが
		_____	ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	_____	ほぼ全ての家族と
		_____	家族の2/3くらいと
		_____	家族の1/3くらいと
		_____	ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	_____	ほぼ毎日のように
		_____	数日に1回程度
		_____	たまに
		_____	ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="checkbox"/>	大いに増えている
		<input type="checkbox"/>	少しずつ増えている
		<input type="checkbox"/>	あまり増えていない
		<input type="checkbox"/>	全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="checkbox"/>	ほぼ全ての職員が
		<input type="checkbox"/>	職員の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	職員の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/>	ほぼ全ての利用者が
		<input type="checkbox"/>	利用者の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	利用者の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/>	ほぼ全ての家族等が
		<input type="checkbox"/>	家族等の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	家族等の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

「生活の主人公は利用者ご本人」であるという理念と、「敬語でお話しし、決して嘘をつかず、これまで通りの生活のお手伝いをさせていただく」という3つの約束を全職員が胸に刻み豊かな日々のお手伝いをさせていただいている。利用者と職員が、毎日さまざまなことに挑戦し続ける中で、共に笑い、喜びを分かち合い、時には悲しんだり怒ったりしながら「どんどん元気になっていくケア」を目指し、全職員一丸となって取り組んでいる。グループホームオリンピア灘では、地域での近所付き合いから、デイサービス利用、そして馴染みの関係を築いた上でのグループホーム入居という流れが可能となっており、“地域密着”ならではの理想的なスタイルを確立している。また、今年よりスウェーデンとの交換留学も始まっており、最先端の知見と技術の獲得だけでなく、グループホームオリンピア灘の素晴らしさを世界へ発信できる最良の機会と捉え取り組んでいる。このようにグループホームオリンピア灘は、現状に満足することなく何事にも挑戦し、常に成長し続ける運営を行っている。